



羽鳥 誠

はとりまこと

1947年生まれ。/ 備前にて修業。日本大学・芸術学部卒業。岐阜県セラミックス研究所・修了。/ 1992年(英)マンチェスター・ポリテクニク(マンチェスターメトロポリタン大学)陶芸科客員教員。1994-1996年(英)コンテンポラリー・アブライト・アーツ(クラフト・カウンシル・インデックス)会員。1996, 1998年(リトアニア)パネバジス国際陶芸シンポジウム招待。1997年英国陶芸家協会"アース&ファイヤー"招待。2006年(ハンガリー)国際陶芸スタジオ招待。2007年(中国)国際陶芸誌編集者会議招待。

主な出展歴

朝日陶芸展、1986年。伝統工芸新作展、1978-1991年まで9回出展。
(イタリア)ファエンツァ国際陶芸コンペティション、1993, 2005年。
(英)「羽鳥誠展」リー・ギャラリー、ロンドン、1993年。
(ニュージーランド)国際展、フレッチャー・チャレンジ陶芸賞展、1994, 1996年。
(英)スタジオ・セラミックス'94(英国陶芸家協会)1994年。
(ベルギー)アンデンス 国際ビエンナーレ陶芸祭、1996年。
(独)国際コンペティション「ザルツブランド」、1996<受賞>2000年。
(米)コンテンポラリー・アート・ワークス・オブ・フェス'97、1997年。
(クロアチア)国際トリエンナーレ「スモール・セラミックス」1997年。
(英)「パーティ・ピース」(英国陶芸家協会)1997年。
(南ア)国際展「セラミックス・ビエンナーレ」1998, 2000年。
(米)セラミック・インターナショナル・ジュライド、1998年。
(豪)「エッジ・トゥ・エッジ」(ヴィクトリアン陶芸協会)1999年。
(豪)ゴールド・コースト国際陶芸賞展、2000年。
(台湾)台湾ゴールデン・セラミックス・アワード、2000年。
(エストニア)タリン・アブライド・アート・トリエンナーレ2000。
(韓国)韓国国際陶磁器ビエンナーレ、2001, 2003, 2015, 2017, 2019年<on the web>。
(豪)シドニー・マイヤー基金・国際陶芸賞展、2002, 2008年。
(米)ビエンナーレ「2 by 2」(東ワシントン大学美術館)2003年。
(スペイン)マニセス国際陶芸ビエンナーレ、2003, 2015, 2024年。
(米)ウッド・ファイヤー競技展、カークウッド・カレッジ、アイオワ、2005年。
(ハンガリー)国際シリケイト・アート・トリエンナーレ(国際陶芸スタジオ)2005, 2014<受賞>, 2017年。
(ベルギー)国際茶碗展2005、ヘミクセム大修道院(ルペール市陶芸祭)2005年。
(スペイン)アルコラ国際陶芸ビエンナーレ、2009, 2015年。
(スロヴェニア)国際陶芸トリエンナーレ UNICUM、2012年<受賞>。
(ルーマニア)クルジュ国際陶芸ビエンナーレ、2013, 2015, 2019年。
(トルコ)セレス'14・国際陶磁・ガラス展(トルコ陶芸協会、アナドル大学)2014年。
(ラトビア)マーチンソン賞・国際陶芸展、2016年。
(イタリア)国際陶芸ビエンナーレ「現代と伝統」アスコリピチェノ、2018年<受賞>。
(スペイン)CERCO 国際現代陶芸ビエンナーレ、2019年。
(スペイン)国際展・ユニークピース・コンテスト(ナバレテ陶芸見本市)2021, 2022年。
(ポーランド)国際茶碗コンペティション、ウジェニウシュ・ゲベルト美術デザインアカデミー、2023年。
(イタリア)第30回現代陶芸コンペティション-MEDITERRANEO、2023年。

主な公的収蔵

(英)大英博物館/(英)ヴィクトリア&アルバート/(英)ストーク・オン・トレント市立博物館
(英)マンチェスター美術館/(英)レディング博物館/(リトアニア)パネバジス市立美術館/
(米)ザ・リタジカル・アート・ギルド/(米)ザンシビル・アート・センター/(豪)ヴィクトリアン・セラミック・グループ/(南ア)プレトリア美術館/(韓国)韓国陶芸財団/(米)東ワシントン大学/(米)カークウッド・コミュニティ・カレッジ/(ハンガリー)国際陶芸スタジオ/(スペイン)アルコラ陶芸美術館/(スロヴェニア)ケルンテン美術館/(ルーマニア)クルジュ・ナボカ現代陶芸美術館/(トルコ)アナドル大学・現代美術館/(スペイン)マニセス陶芸美術館/(スペイン)ラ・リハオ、ナバレテ市役所

羽鳥 誠 陶造形工房
302-0104 茨城県守谷市久保ヶ丘 3-3-1
hatorimakoto@ymail.ne.jp

